

# 西貝交流センターだより 楠の芽

西貝交流センター発行  
西貝塚1377-5 TEL.32-4853

交流センターに茂る「楠の大樹」と「ひょうたん池」は、西貝地区の自然保護と憩いのシンボルです

## 令和5年度地域づくり協議会

### 各部ではこんな活動を実施しました

#### 〈総務環境部〉

環境美化活動(6月・10月)

役員視察研修(6月)

ひょうたん池の整備作業に協力(年4回の河川愛護活動を中心に参加)【写真①】

#### 〈福祉部〉

福祉講演会(9月)【写真②】

子育てサロン「ふわふわ」の毎月の定例活動の支援【写真③】

各自治会ふれあいサロンの運営を支援

#### 〈文化部〉

地区文化祭(11月)【写真④・⑤】

西貝地区のだ自慢大会(6月)【事務局対応】

#### 〈青少年健全育成部〉

安全パトロール(12月)\*6月は雨天中止

夏休みこども教室(7月)【写真⑥】

#### 〈体育部〉

地区体育祭(9月)【写真⑦】

モルック大会(5月・11月)【事務局対応】

冬のお楽しみグラウンドゴルフ大会(2月25日実施予定)

#### 〈防災部〉

総合防災訓練の実施(9月)【写真⑧】

地域防災訓練・指定避難所運営訓練の実施(12月)

防災フェア(起震車体験訓練)(12月)\*当初計画は6月であったが、雨天のため12月に変更。

#### 〈地域安全部〉

交通安全運動街頭キャンペーン(4月・7月・9月・12月)【写真⑨】

自転車マナー向上キャンペーン(5月・10月・1月)

旗振り講習会の実施(5月)【写真⑩】

子ども見守り活動・青パトの運行(各自治会実施)

大きな行事がおおむね終了し、各自治会では令和6年度に向けて、自治会役員や各種委員の選考・依頼が進められています。地域づくり協議会や自治会活動を推進していくためには、役員・委員はもとより、地域の皆さんの理解と参加が大事になります。



## 30年間で震度7を7回も観測

気象庁によれば、ここ30年間で震度7が下記のとおり7回も観測されています。

1995年1月17日 阪神・淡路大地震

2004年10月23日 新潟県中越地震

2011年3月11日 東日本大地震

2016年4月14日・4月16日 熊本地震

2018年9月6日 北海道胆振(いぶり)東部地震

2024年1月1日 能登半島地震

## 講座のお知らせ

詳しくは『学びの庭』または回覧案内で

中日新聞東海本社協賛

## 新聞ちぎい絵講座

日時：3月16日(土)

9:30~11:30

新聞のカラー紙面を指でちぎって貼り付け、味のある作品を作ります。紙を細かくちぎる作業は、指の運動にもつながります。中日新聞東海本社から、講師をお招きします。

対象：大人 定員：24人

費用：300円(材料費)

持ち物：お手拭きタオルまたはウェットティッシュ、筆記用具・飲み物・落款(お持ちの方)

その他：小・中学生は、ご相談ください。

申込み受付 2月17日(土) 8:30~

## 3月11日は家庭防災の日 トイレ対策は大丈夫？

磐田市自治会連合会は、3月11日を「家庭防災の日」として位置付け、自分・家族の命は自ら守るという自助の意識を高め、我が家の防災・減災対策を見直す日としています。水・食料の備蓄はもちろんですが、トイレ対策も重要です。ニュースで見聞きしているとおり、インフラはすぐには復旧しないことを想定した対策を考えましょう。

## スマホで施設予約講習会 2月28日(水)

2月1日から、磐田市公共施設がウェブで予約できるようになりました。ご自分のスマホやパソコンから部屋の予約ができます。まだ心配な方は、この機会に覚えてみましょう。慣れてしまえば便利です。

詳しくは西貝交流センターへお問い合わせ下さい。

体育館・グラウンドは、今までどおり窓口または電話での申し込みになります。新規の団体は、窓口で受け付けます。

## 可愛いペーパーウェイト講座

日時：4月13日(土) 13:30~15:30

下地を塗った石に、デコパージュで模様を付けパールやストーンなどの可愛いパーツを貼り、ペーパーウェイトを作ります。紙押さえとして西貝交流センターでも使っています。可愛いので置物にもなります。2つ作ります。

対象：大人 定員：15人

費用：700円(受講料100円・材料費600円)

持ち物：水を入れる容器・平筆または中筆・クッキングシート・布切りはさみ・新聞紙・雑巾またはペーパータオル

申込み受付 3月13日(水) 8:30~

## 西貝地区 風物あれこれ

### 東小学校があった頃

交流センターの敷地に東小学校があり、かつて通学していた小学生は、若い方でも70代後半になろうとしています。大きな楠は今も残っていますが、学校東側の水田を埋め立て、運動場の拡張が行われたことは知る由もありません。現在は住宅地です。



事務室の窓から

このくらいは大丈夫？

何も被害がなかった時、災害に備えた避難は空振りだった、と言うことがあります。言葉の綾ですが、素振りと思えば、とある方が言っていました。自分は大丈夫と思いたいのが人の心理。素振りが役に立ちます。